要旨

Ashra-1により１素子42度の広視野で3分角の精度にて空気シャワーのトリガー撮像が初めて実現した。発展計画NTAは、PeV-EeV領域νとγ線を複合観測しIceCube宇宙ν観測に一層深い理解と最高エネルギー宇宙線を含む総合的な素粒子的宇宙像に新たな展望をもたらす。NTA全観測まで、Ashra-1第4観測期として全視野化後、6素子銀河バルジPeVγ線の最高感度での監視、さらにNTA4素子連動による銀河ν＆γ線複合監視を段階的に実現する。トリガー読出の最適化が順調に進み、予算化後速やかに監視観測が開始できる。

（258字）